

優先順位が低い!? 必要なものは必要だ!! 駅の設備・環境について議論する

無人駅集札においては、雨の中、上屋もない駅で車掌は集札を行っています。照明も十分とは言えず、フロアサインの確認が困難な駅もあります。ホーム上まで草が茂っている駅もあります。線区によっては整備が至らなかつたり、あるいは、設備の不良箇所が有るのが現実で、旅客サービス上はもとより、安全上も危惧される事態となっています。名古屋地本は申第10号駅の環境についての申し入れを行い、3月1日、業務委員会を開催し会社と議論をしてきました。

以下、申し入れに対する会社回答と協議内容です。

《申し入れと会社回答》

1 太多線・高山線・紀勢線など屋根がない駅が多い。線区の殆どが無人駅で車掌は集札しなければならない。旅客対応のためホームに屋根を設置すること。

【回答】会社としては必要な整備はしており、今後も適宜適切に対応していく。

2 太多線・高山線ではホームが暗く、フロアサインの確認が困難である。照明を明るく改善する事。

【回答】引き続き必要な照度を保つよう適切な保全を実施していく。

3 太多線・高山線ではホームが狭く、一列でしか歩けない駅がある。蘇原駅では土地はあるが柵で仕切られている。十分な広さを確保するよう改善すること。

【回答】お客様の乗降人員を鑑み、必要十分な幅員を確保している。

4 太多線・高山線、ホーム上の草がひどい。点字ブロックの上に掛かっていたり、ホーム外側に草が生えている駅もあり、旅客転落の恐れもあることから早急に改善すること。

【回答】駅構内の除草については安全面・傷害面等を考慮し必要に応じ実施している。

5 逢妻駅、階段から降りた辺りの電柱により見通しが悪い。また、点字ブロックに掛かっている。電柱を移設するなど改善する事。

【回答】そのような考えはない。

6 IC乗車券未対応駅(線区)では、IC乗車券対応が車内で多く発生するため車掌は精算に忙殺され、列車遅延も多々発生している。早急に全ての駅でIC乗車券対応可能とすること。

【回答】TOICAエリアについては経営上の合理性を前提として設定しており現時点でこれ以上の拡大予定はない。

《主な議論》

組合: 必要な整備はしているとの回答だが、「必要」について組合と会社のとらえ方のレベルが違う。いつも話が合わない。ここを埋めなければならない。日々、雨の中で業務しなければならない大変さが判っているのか。

会社: 気持ちは判るが、全て付けられるものでもない。優先順位もある。

組合: 優先順位と言われると、優先順位が後になってしまう線区だ。優先順位が低い線区でもお客様はいるし社員も働いている。全く屋根のない駅もある。列車が来てからホームに向かうお客様もいる。

会社: 全体を見て対応している。

組合: ホーム上の待合室が老朽化で撤去され新設されない駅もある。

会社: 地域の方の気持ちは判るが全体を見て判断している。

組合: 天候不良時は抜粋カードも濡れてしまう。車掌はそのような中でよく確認できているなという状況だ。運転取り扱い上も問題がある

会社: 必要な箇所に必要な投資はしていく。直すべき所は直している。全てを改善できるものではない。

組合: 照度はどのように確認しているのか。

会社: 色々な角度から基準をもって計っている。

組合: ホームの照度が保たれていたとしても周りは暗い。ホームの端がどこか分からない。全体が明るいわけではなく暗い部分もあり、特にワンマン列車では不安になる。照度だけでなく見え方の工夫もして欲しい。

会社: 貴重な意見ではある。

組合: LED化を進めるべきだ。進捗状況はどうなのか。

会社:持ち合わせがないので判らない。

組合:逢妻駅の電柱は現地を確認したのか。点字ブロック上にあることで支障がある。ホームに電柱があるなんておかしい。技術的な問題なのか。支障が無いということなのか。

会社:国からの指導に基づいてやっている。問題はない。

組合:国がどのような指導をしたのか分からないが、褒められた話ではない。

会社:点字ブロックがくねくねするのは良くない。

組合:だから電柱を移設すると良いと考える。

会社:電柱設置の条件もあるので難しい。

組合:カーブの駅でそれなりに条件があるのは分かるが、今後の改善の課題にするべきだ。

組合:駅構内の草が目立つようになった。何が変わったのか。草刈りの間隔なのか。除草剤の使用制限なのか。ホーム上でも草が生えている。

会社:草が本当に生えているのか事実がわからない。必要な除草はしている。

組合:除草は誰がするのか。

会社:管理駅である。

組合:管理駅側でも除草には困っている。駅でもやれることが限られている。工務も含めてシステムティックに考えないといけない。

会社:防草シートとか草が生えない仕組みも考えている。

組合:駅の要員減が要因ではないのか。

会社:あまり関係ない。

組合:草刈りにしろ除草剤にしろ、小まめにやらなければいけない。これまでは小まめな手当が出来ていたのではないか。管理駅の負担が大きすぎて手当が出来ないから草が増えてきたのではないか。

会社:考えられるかもしれないが、事実かというところと違う。

組合:除草は業務として考えているのか。

会社:やれば業務である。草刈りのための要員は考えていない。現場と相談してやっていく。

組合:駅は会社の顔でもある。目立つ箇所は優先してしっかりすべきだ。草が生えているなんて恥ずべき事だ。

会社:必要な所からやっている。

組合:その「必要」と感じるところが違う。現場としっかり話をするべきだ。マメにやらないとひどくなるばかりだ。

会社:実態がひどいのであれば刈らなければならない。

組合:IC乗車券の問題は、この間ずっと要求してきているが解決されない。特に境界駅ではTOICAで入れる。お客様の都合でどの方面に向かうか分からない。その対策はあるのか。

会社:ポスターであったり乗務員の案内であったり色々な連携を図っているが、周知し続けるしかない。

組合:お客様都合で動かれて、その後で面倒を見るのは現場である。非常に負担を被っている。

買い物で使えて列車では使えないのは如何なものか。現場社員が苦勞しない方策を求める。

会社:お客様に分かってもらうという事はある。経験して頂きながらやっていく。

組合:今は、自動販売機でも使える、駅以外の買い物にも使える。便利なので普及してきたのは間違いない。電車に乗れないのは如何なものか。

会社:どこで使えるようにするかと、発展する中で広がってきた。電車全てに優先するものでもない。

組合:いろいろ制約はあろうかと思うが、使えるようにして行かざるを得ないであろうと考えている。今後の宿題として欲しい。

以 上